

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI川口教室		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 27日		～ 2026年 2月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2025年 12月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・運動療育をツールとし、情動調整、他人とのかかわり方を学ぶ場、自己肯定感の向上を図ることができる	・あくまで運動をツールとしているため、運動に寄りすぎないよう支援内容を工夫している	・お子様一人ひとりに合った支援内容を常に職員間で共有し、同じ支援が提供できるよう取り組んでいく
2	・広い活動場所を提供することで、安全に配慮している	・角にはコーナーガードを設置したり、運動中怪我防止のため、常に職員が手助けできるような位置取りを行っている	・壁や床にもクッション性のある保護材を使用していく
3	・豊富な運動器具を用意しており、適切なアプローチが行える	・支援内容が偏らないよう、運動メニューを可視化し、同じ運動器具でも様々な使用方法を展開している	・更に支援が広がるよう、感覚統合に特化した運動器具を導入していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・まだ必要な器具が揃っていない	・療育に対する研究や見解が日々進歩しており、教室設立時と状況に変化がみられる	・お子様、保護者の満足度向上のため、必要な投資を行う
2	・専門的な視点での支援や評価が職員間でばらつきがみられる	・専門的な研修等行える職員が少ない	・外部からの研修、資料提供など行う ・定期的に専門的な研修を行う
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	TAKUMI川口教室
------	------------

公表日 2026年 2月 28日

利用児童数 : 37

回収数 : 17

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17				・伸び伸びと運動ができていると思います ・広いスペースで活動ができ、満足です	・ありがとうございます。これからも怪我等に留意し、支援を提供してまいります
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17				・子どもの人数に対して指導員が多く満足しています ・現在は1対1のため問題ありません	・ご意見ありがとうございます。引き続き適切な人員配置で取り組んでまいります
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17				・とてもキレイです。ただ室温が高いときがあるようで、運動すると暑いと言っています	・ご意見ありがとうございます。適切な室温で運動が行えるよう配慮してまいります
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1			・子どもの質問や意見に対して柔軟に耳を傾けていただいています	・嬉しいご意見ありがとうございます。継続してお子様満足していただけるよう支援してまいります
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17				・面談等で意見や意向も丁寧に聞き取りしていただいて、計画に取り入れて下さっています	・嬉しいご意見ありがとうございます。引き続きお子様、保護者様のニーズを取り入れた計画を作成してまいります
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17				・色々な運動あそびができます	・ご意見ありがとうございます。引き続き飽きのこないメニューを提供してまいります
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	1	5	3	・そういった機会はないと思いますが、普段保育園に通っているので、個人的にはなくとも良いかなと思います	・ご意見ありがとうございます。必要に応じて機会を作ってまいります
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14		1	2	・もしあれば参加してみたいです	・ご意見ありがとうございます。内容等ご希望がございましたらお気軽にご相談くださいますと幸いです
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1			・様子等いつも丁寧に教えて下さっています	・嬉しいご意見ありがとうございます。フィードバックは限られた時間ですが、中でもお伝えできるような尽力してまいります
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13			4	・定期的な面談などして頂いています	・ありがとうございます。ご希望がございましたらお気軽にご相談くださいますと幸いです
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17				・子どもだけでなく、親の気持ちにも寄り添っていただいていると思います	・嬉しいご意見ありがとうございます。お子様だけでなく、ご家族様も含んだ包括的な支援を提供してまいります
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	2		8	・保護者会などはありませんが、見学や送迎の際に話ができたりすることもあります	・ご意見ありがとうございます。ご希望がございましたらお気軽にご相談くださいますと幸いです	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14		3	・相談した内容をすぐに運動にも取り入れて下さりありがたいです	・嬉しいご意見ありがとうございます。保護者様のニーズにも合わせた運動メニューを提供してまいります
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16		1	・口頭やLINEでも連絡させていただけるので連絡しやすいです	・ありがとうございます。引き続き分かりやすい連絡を心掛けてまいります
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	1	・Instagramも見ています	・ご覧いただきありがとうございます。定期的な発信ができるよう努めてまいります
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16		1	・個人情報の取り扱いは今後も慎重にしてほしい	・貴重なご意見ありがとうございます。個人情報については目のつくところに置かない、鍵付きのロッカーで保管する等十分に配慮させていただきます
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16		1	・訓練のタイミングに登園したことがなく分かりませんが、機会があれば参加したいです	・ご意見ありがとうございます。毎年行っておりますので、ご希望がございましたらお気軽にご相談くださいますと幸いです
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11		6		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17			・エレベーターホールに避難経路など掲示してあります。	・ご意見ありがとうございます。引き続き分かりやすい周知を徹底してまいります
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16		1	・今までケガや事故があったことはないですが、何かあった際には説明していただけの安心感があります	・安心していただけているとのこと嬉しです。ケガや事故が無いことを第一に、もし発生してしまった場合には、適切な対処を取らせていただきます
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17			・毎週安心して通わせていただいています ・通い始めた頃は、かなり不安そうでしたが、今は先生との関係も構築され安心して通所していると思います	・安心していただけているとのこと嬉しです。引き続きお子様との関係構築を行っていきます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17			・楽しみにしています。特にイベントが楽しみなようです ・運動を楽しんでいて、通所を楽しみにしています ・楽しみにしているかは不明ですが、事業所に着くと笑顔で過ごしています ・「たくみにつれてきてくれてありがとうございます」と感謝されました。追加日程のご提案を本人に伝えるととても嬉しそうに快諾します	・嬉しいご意見ありがとうございます。楽しむことを第一に、体の動かし方や自己肯定感の向上も図っていきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	17			・体を動かすことに前より自信がついたと思います。いつもありがとうございます ・通い始めてから運動面がかなり発達したと思います。本人はとても楽しんでおり、大変満足です。いつもありがとうございます！	・嬉しいご意見ありがとうございます。慢心することなく日々精進してまいります

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	TAKUMI川口教室	公表日	2026年 2月 28日
------	------------	-----	--------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・角にコーナーガードを設置している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	・適切な人員配置になるよう取り組んでいる	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・床に白い線を引いてゾーニングを行ったり、ドアの下はフラットになっている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	・毎朝掃除を行い、清潔を保っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・必要に応じて相談室を使用している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・日々の業務に対し、効率化できないか考えている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・今回いただいた意見を元に、改善できるところを職員間で共有している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・勤続年数関係なく風通しのよい空間を心掛けている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	・研修が開催されている	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・常にプログラムを作成し、適宜公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・時間を設けてモニタリングを行い、過去の目標に対する評価、現状を鑑みて作成している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・その日出勤している職員で考察している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・作成後、ファイルに保管し、誰でも見れるようにしている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・支援記録を必ず入力し、振り替えられるようにしている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・その都度職員間で話し合い立案している	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・運動メニューを視覚化し、固定化しないようにしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・無理に集団で活動するのではなく、状況に応じて対応している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・個別対応等、混乱がないよう事前に打ち合わせている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・対象のお子様を対応した職員に伺い、細かい様子を記録している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・半年ごとにモニタリングを行い、適切な見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2		・地域交流については行っていない、今後必要に応じて検討していく
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・適宜情報共有を行っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	6		・適宜情報共有を行っている	
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			・必要に応じて情報共有を行っている	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			・必要に応じて情報共有を行っている	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		6		・助言や研修を受ける機会を設けられていない、今後必要に応じて検討していく
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		・機会がない、今後必要に応じて検討していく
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・活動終了後にフィードバックを行っている		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	・毎月保護者参加型のイベントを行い、適宜情報共有等を行っている		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・契約時に行っている		
	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・定期的な面談により機会を設けている		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6					
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			・フィードバック時など、相談事があった際には時間を設けて助言や支援を行っている		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3			・毎月の保護者参加型イベントで交流する機会を設けている	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6					
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6				・インスタグラムを活用している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6				・個人情報の記載がある書類は必ず事務室内に保管している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6				・適切な言葉遣いを心掛けており、職員間でも確認を行っている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6				
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1			・毎年行っている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6				・毎年行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	2	4				・確認できていない場面がある
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6					・食品を提供する際には、アレルギー表記を必ず見える化している
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6					・運動器具の点検など、常に安全管理を行い支援を提供している
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6					
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6					・ヒヤリハットを作成し、再発防止のため話し合いを行っている
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6					・毎年研修を行い、常に意識できるよう取り組んでいる
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。						・契約時に説明している	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI川口教室		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 27日		～ 2026年 2月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2025年 12月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・運動療育をツールとし、情動調整、他人とのかかわり方を学ぶ場、自己肯定感の向上を図ることができる	・あくまで運動をツールとしているため、運動に寄りすぎないよう支援内容を工夫している	・お子様一人ひとりに合った支援内容を常に職員間で共有し、同じ支援が提供できるよう取り組んでいく
2	・広い活動場所を提供することで、安全に配慮している	・角にはコーナーガードを設置したり、運動中怪我防止のため、常に職員が手助けできるような位置取りを行っている	・壁や床にもクッション性のある保護材を使用していく
3	・豊富な運動器具を用意しており、適切なアプローチが行える	・支援内容が偏らないよう、運動メニューを可視化し、同じ運動器具でも様々な使用方法を展開している	・更に支援が広がるよう、感覚統合に特化した運動器具を導入していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・運動療育がメインの教室ではあるが、まだ必要な器具が揃っていない	・療育に対する研究や見解が日々進歩しており、教室設立時と状況に変化がみられる	・お子様、保護者の満足度向上のため、必要な投資を行う
2	・運動療育がメインの教室ではあるが、専門的な視点での支援や評価が職員間でばらつきがみられる	・専門的な研修等行える職員が少ない	・外部からの研修、資料提供など行う
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI川口教室

公表日 2026年 2月 28日

利用児童数 : 40

回収数 : 14

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14				出来れば、また靴なしでの活動を希望	ご意見ありがとうございます。安全等を考慮し、今後も皆様にご満足いただけるような環境づくりを行ってまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14				・手厚くてとても感謝しています	嬉しいお言葉ありがとうございます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14					
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14				・季節のイベント等、いつも工夫しています	嬉しいご意見ありがとうございます。引き続き固定化しないよう、職員間で共有してまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	6	3	・機会はないがそれで別に構わないと思っています	ご希望がございましたらお気軽にご相談くださいますと幸いです。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1	3	3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12	2				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	3	5	1	・イベントなどで姉にもお声がけありがとうございます。楽しく参加しているようです ・不満はないです ・親同士が交流できるような催しものがあれば嬉しいです	嬉しいお言葉、またご意見ありがとうございます。ご意見を元に検討させていただきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	1		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1		1	・不明です	保護者様にも分かりやすいよう定期的な案内を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1			・発生していないので不明です	発生した際には適切な流れで対応いたします。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13				・信頼できる先生方に指導していただき、安心して通っています	嬉しいお言葉ありがとうございます。引き続き安心できるような環境づくりを心掛けてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13				・「習い事のなかで一番楽しい」と毎回楽しみにしています	とても嬉しいお言葉ありがとうございます。楽しみが継続されるよう、様々な運動メニューを提示してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13					

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		TAKUMI川口教室			公表日		2024年 2月 28日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		6		・角にコーナガードを設置している
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		4	2	・適切な人員配置になるよう取り組んでいる			
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6		・床に白い線を引いてゾーニングを行っている。また、ドアの下はフラットになっている			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		5	1	・毎朝掃除を行い、清潔を保っている			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		6		・必要に応じて相談室を使用している			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		6		・日々の業務に対し、効率化できないか考えている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6		・今回いただいた意見を元に、改善できるところを職員間で共有している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6		・勤続年数関係なく風通しのよい空間を心掛けている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		5	1	・研修が開催されている		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		6		・常にプログラムを作成し、適宜公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		6		・時間を設けてモニタリングを行い、過去の目標に対する評価、現状を鑑みて作成している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		6		・その日出勤している職員で考察している		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		6		・作成後、ファイルに保管し、誰でも見れるようにしている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		6		・支援記録を必ず入力し、振り替えられるようにしている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		6		・その都度職員間で話し合い立案している		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・運動メニューを視覚化し、固定化しないようになっている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・無理に集団で活動するのではなく、状況に応じて対応している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・個別対応等、混乱がないよう事前に打ち合わせている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・対象のお子様を対応した職員に伺い、細かい様子を記録している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・半年ごとにモニタリングを行い、適切な見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		・余暇の提供や創作活動等、複数組み合わせ支援を行っている	・現在、地域交流については行っていない
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・枠組みを決め、細かい内容は話し合いで決めてもらうなどしている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	2		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・医療機関と連携している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・適宜情報共有を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		・必要に応じて情報共有を行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		・必要に応じて情報共有を行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		・助言や研修を受ける機会を設けられていない、今後必要に応じて検討していく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		・機会がない、今後必要に応じて検討していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6		・自立支援協議会への参加はまだない、今後必要に応じて検討していく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・活動終了後にフィードバックを行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		・毎月保護者参加型のイベントを行い、適宜情報共有等を行っている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・契約時に行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・定期的な面談により機会を設けている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・フィードバック時など、相談事があった際には時間を設けて助言や支援を行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	3	・毎月の保護者参加型イベントで交流する機会を設けている	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・インスタグラムを活用している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・適切な言葉遣いを心掛けており、職員間でも確認を行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		・現在は行っていない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・毎年行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・毎年行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	2	4	・契約時をはじめ適宜確認している	・ごくたまに確認できていない場面もある
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・基本的に食品の提供は行っていないが、イベント等で食品を提供する際には、アレルギー表記を必ず見える化している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・運動器具の点検など、常に安全管理を行い支援を提供している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・ヒヤリハットを作成し、再発防止のため話し合いを行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・毎年研修を行い、常に意識できるよう取り組んでいる	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・契約時に説明している		